

# アジアタ・グループ (AXIA)

## 2017/12 期は 8 割増益、2018/12 期も市場予想は 58% の増益

### マレーシア | 通信事業者 | 業績フォロー

BLOOMBERG AXIATA :MK | REUTERS AXIA.KL

- 2017/12 通期は、売上高が前期比 13.2%増の 244.02 億 MYR、当期利益は同 80.4%増の 9.09 億 MYR となった。
- 東南アジアを中心に事業環境が改善したことで、モバイル事業子会社が全般的に売上を伸ばした。コスト最適化の取り組みも寄与。
- 2018/12 期は、為替の影響を除いたベースで前期比 6.3%の増収、EBITDA が同 5.8%増、ROIC が 5.0-5.5%、ROCE が 4.5-5.0%を目指す。

#### What is the news?

2017/12通期は、売上高が前期比13.2%増の244.02億MYR、EBITDAが同15.2%増の92.30億MYR、当期利益は同80.4%増の9.09億MYR。東南アジアを中心に事業環境が改善したことで、子会社が全般的に売上を伸ばした。コスト最適化の取り組みも功を奏し、費用の削減額は会社計画の8億MYRに対し13億MYRとなり、EBITAマージン比率も37.8%と前期から0.6%改善。厳しい競争環境によりインドの持分法適用会社「Idea」で▲4.50億MYRと大幅な損失を計上したにも関わらず、グループ全体では大幅増益となった。為替の影響を除いたベースでも当期利益は同76.0%増。

主要な子会社の業績は以下の通り。主力のマレーシアのモバイル事業「Celcom」は、売上高が前年同期比0.6%増の66.52億MYR、当期利益が同8.5%増の10.49億MYR。4G・4G LTE-Aの人口カバレッジがそれぞれ、87%、74%に拡大。製品ポートフォリオの簡素化や、デジタル化による組織改革なども寄与した。インドネシアの「XL」は、売上高が同8.0%増の22兆9,010億IDR、当期利益が同横ばいの3,750億IDR。スリランカの「Dialog」は、売上高が同8.6%増の941.96億SLR、当期利益が同19.3%増の107.85億SLR。バングラデシュの「Robi」は、売上高が同29.7%増の683.47億BDT、当期利益が同▲28.43億BDTと前期の▲38.92億BDTから赤字幅縮小。ネパールの「Ncell」は、売上高が同1.0%減の580.54億NPR、当期利益が同6.8%減の189.24億NPR。インフラ企業の「edotco」は、売上高が同11.8%増の15.47億MYR、当期利益が同14.5%減の1.83億MYR。

#### How do we view this?

同社は 2018/12 期の事業環境について、強いモメンタムがあり、主力のモバイル事業は引き続き好調に推移するものと見ている。大幅な損失を計上した「Idea」については、損失は買収に伴う会計上の調整であり、事業価値自体には自信を示している。また、「edotco」のパキスタンでの企業買収が完了すれば利益が大幅に伸び、フィンテックや IoT などへの投資が増加する見通しである。2018/12 通期の会社計画は、為替の影響を除いたベースで売上高が前期比 6.3%増、EBITDA で同 5.8%増、ROIC (投下資本利益率) が 5.0-5.5%、ROCE (使用資本利益率) 4.5-5.0%である。2018/12 通期の市場予想は売上高が前期比 2.8%増の 250.97 億 MYR、当期利益が同 58.6%増の 14.42 億 MYR である。

#### 業績推移

※参考レート 1MYR=27.32円

事業年度	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12F	2019/12F
売上高 (百万MYR)	19,883	21,565	24,402	25,097	26,310
純利益 (百万MYR)	2,554	504	909	1,442	1,759
EPS (MYR)	0.29	0.06	0.10	0.17	0.22
PER (倍)	18.70	96.14	54.26	32.24	24.91
BPS (MYR)	2.67	2.63	2.73	2.75	2.84
PBR (倍)	2.05	2.08	2.00	1.99	1.93
配当 (MYR)	0.20	0.08	0.09	0.11	0.15
配当利回り (%)	3.65	1.46	1.55	2.01	2.74

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

## フィリップ証券株式会社

配当予想 (MYR) **0.11** (予想はBloomberg)  
終値 (MYR) **5.48** 2018/3/28

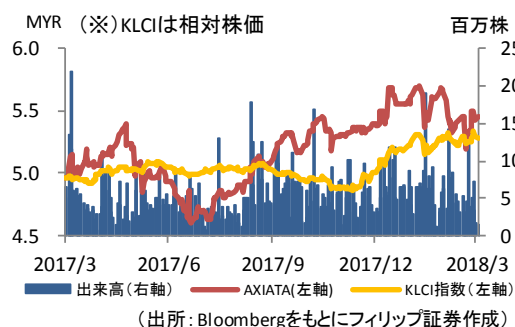
#### 会社概要

1992年にテレコム・マレーシアの1部門「テレコム・マレーシア・インターナショナル」として設立。2008年にテレコムマレーシアから分離し、ブルサ・マレーシア証券取引所への上場を果たした。アジア最大の通信グループの1つで、モバイルネットワーク、通信インフラストラクチャーおよびデジタルサービスに多様な事業ポートフォリオを持ち、幅広い革新的な通信製品とサービスを提供する。

マレーシアの「Celcom」、インドネシアの「XL」、スリランカの「Dialog」、バングラデシュの「Robi」、カンボジアの「Smart」、ネパールの「Ncell」などのモバイル事業子会社およびインドの「Idea」、シンガポールの「M1」などの持分法適用会社を傘下に持ち、11カ国で約3億5,000万人の加入者を抱える。グループのインフラ企業「edotco」は、5カ国で通信インフラストラクチャーサービスを提供し、25,000以上の拠点を有する地域ポートフォリオを管理・運営する。2012年にインターネットベースのビジネスの急速な成長を捉えるために設立した「Axiata Digital」は、モバイルマネー、モバイル広告、電子商取引、エンターテインメント、教育など、需要が高まっている分野において、3つの子会社と7つのジョイントベンチャーからなるポートフォリオを構築し、29のデジタルブランドを展開している。

#### 企業データ (2018/3/29)

ベータ値	1.57
時価総額 (百万MYR)	49,588
企業価値=EV (百万MYR)	67,819
3ヵ月平均売買代金 (百万MYR)	35.07



#### 主要株主 (2018/3)

1. Khazanah Nasional BHD	37.26
2. Employees Provident Fund Board	16.71
3. Skim Amanah Saham Bumiputera	11.96

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

#### アナリスト

増淵 透吾  
togo.masubuchi@phillip.co.jp  
+81 3 3666 0707  
庵原 浩樹  
+81 3 3666 6980  
hiroki.ihara@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。